

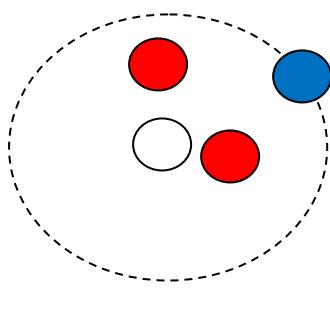
【 ボッチャ基本ルール 】

1. 2つのチームに分かれます。
2. 先攻（赤）と後攻（青）を決めます。
3. まず、先攻（赤）のチームがジャックと呼ばれる白いボール（目標球）を投げます。
4. 続けて、先攻の赤チームが1投目を投げます。
5. 次に、後攻の青チームが1投目を投げます。
6. 以降は、ジャックボールからより遠い位置にボールを投げたチームの選手が次の投球を行います。
7. 赤チーム、青チームがそれぞれ赤・青のボールを6個ずつ投げた時点で1エンド終了。

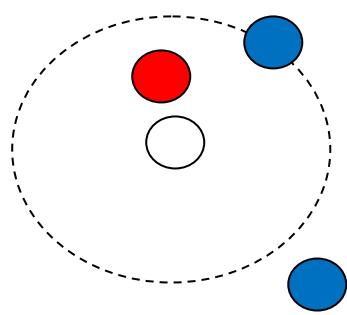
○点数の数え方について

- ・ エンド終了後、ジャックボールに最も近いボールを投げたチームだけに得点が入ります。
- ・ ジャックボールに一番近い相手チームのボールよりも、ジャックボールに近い自分のチームのボールの個数が点数になります。

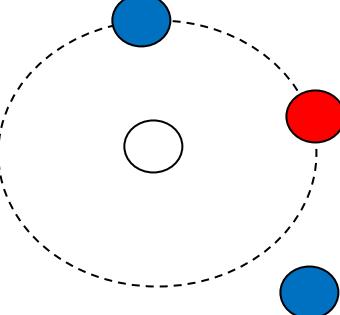
2対0で赤の勝ち



1対0で赤の勝ち



1対1で同点



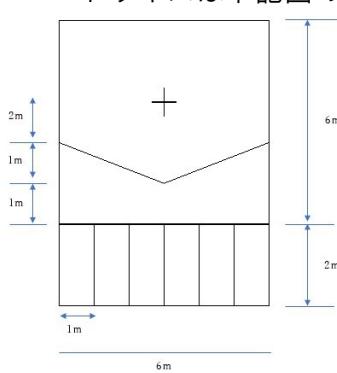
【 大会申し合わせ事項 】

※ルールは変更になる場合がございます。変更の場合は参加案内にてご案内いたします。

○競技形式について

1. 先攻（赤）または後攻（青）は試合前のトス（じゃんけん）で決定します。
2. 全試合4エンドで行います。
3. 全試合、コールドゲーム・タイブレーク（ファイナルショット制）が適用されます。
4. 各予選リーグの順位は、勝点制とし（勝ち3点、負け0点）、同点の場合は①直接対決②得失点差③総得点④ファイナルショットの順で決定します。
※ファイナルショットについては審判長の指示のもと行います。
5. コートはサイズを縮小し、福岡ボッチャ協会推奨レクリエーション用ミニコートにて実施します。

コートサイズは下記図の通りです。



○招集について

1. 招集場所は、体育室に設置します。
2. 招集は、プログラム（タイムテーブル）に記載している招集時間までに集合してください。
※招集時間より5分経過してもメンバーが揃わない場合は不戦敗といたします。
3. 待機しているチームは、役員の指示に従い、コートに移動してください。

○選手交代について

1. 選手登録は介助者含め6名までとします。
2. 試合中選手交代はエンド間のみ可能です。ただし、やむを得ない場合は、審判長の判断により認める場合があります。（交代する選手と同じBOXに入ってください。）

○ペナルティについて

1. ペナルティについては適用せず、注意を行い、反則投球したボールについては除去します。

○タイブレーク（ファイナルショット制）について

1. 4エンド終了時に同点だった場合は、コート中央のクロスにジャックボールを配置し、コート内の任意の選手が1球ずつ投球してジャックボールにより近いボールを投球したチームを勝者とします。
2. 投球順序は、4エンド終了後じゃんけんで決められ、任意の選手1名を決定して投球します。

○コールドゲームについて

1. 3エンド終了時点で点差が7点以上の場合、ゲームを終了します。
2. 予選リーグではスコアの得失点差を+7になるように調整します。負けチームの得点はそのままとし、勝ちチームは負けチームの得点+7点とします。4エンド終了時点で、点差が7点以上の場合も、同様に得点を調整します。

○投球時の制限時間について

1. 投球には制限時間が設けられ、1エンド毎にチームで3分間以内とします（3人の合計）。
2. 制限時間は、審判員の投球指示から選手より投げられたボールがコート内で静止するか、コートの境界線を横切った瞬間までを計測します。

○アウトオブザウェイについて

1. 相手チームの投球の妨げにならない位置に下がること。

※完全に BOX 外に出る必要はありません。

○ボールについて

1. マイボールの使用は可能です（規定内のボールに限る）。
2. マイボール以外の方は当センターが準備する公認ボールをご使用ください。

○ランプについて

1. 貸し出し用のランプは「固定式」と「非固定式」があります。

但し、固定式ランプの貸し出しは、日頃より固定式ランプを使用している方、ランプオペレーターが操作できる方のみとなります。

数に限りがある為、出来るだけご用意をお願い致します。

2. 投球時は、スローリング BOX の中に車いすの車輪の一部を入れてください。

○介助について

1. 視覚障がい者はスローリングボックス内に投球位置が分かるよう印を付けることが可能です。
2. 知的障がい者の介助者は順番やジャックボールの位置等を伝えることが可能です。また審判への申請によりコート内に1名入ることを認めます。
3. 視覚障がい者の介助およびランプ使用選手が方向や高さ等を指示できない場合、介助者自身が方向を定めることに対しペナルティは取りません。必ず、試合開始前に、事前に審判に申し出てください。
4. 介助者は選手を兼ねることができ、自チームのスローリングボックス間の移動が可能です。

○その他

1. 写真撮影は、対戦チームより許可を得た上で撮影を行ってください。

また、フラッシュでの撮影は競技進行の妨げとなりますのでご遠慮いただきますようお願い致します。

2. 大会の記録用のため、スタッフの撮影にご協力お願い致します。

3. 応援につきましては、2階観覧席よりお願い致します。

4. ロッカーにつきましては、全館使用禁止とさせて頂きます。

5. 選手待機場所は小体育館・講習室・和室とさせて頂きます。貴重品の管理は各自・各チームにてお願い致します。

※役員控室はボランティア室となります。